

コスモスのうた

(まど・みちお作詞、山本直純作曲)
1992年

だれかに 一りん
あげたいのだけれど
コスモス
コスモス

コスモス

ともだちが すき

ともだちと みんなで

てを つないで

あそんでる

グラスに 一りん

さしたいのだけれど

コスモス

コスモス

あおぞらが すき

あおぞらを みあげて

みな はればれと

うたつて

※(まど・みちお作詞、作曲)1985年について、二番の最後が、次のようになっています。

あおぞらを ながめて
ちいさなこえで うたつて

JASRAC 出 233080521001



まど・みちお

「まど・みちおこどものうたフェスティバル」
まどさんを囲んで左から
眞理ヨシコさん、山本直純さん、
ボニージャックス



ご存知ですか！まど・みちお作詞作曲「コスモスのうた」

コロナ禍で延期されていた「まど・みちおコスモス音楽会」。今月16日、4年ぶりに文化会館のステージに帰ってきました。

この音楽会は、1992年に開催した「まど・みちおこどものうたフェスティバル」を記念して翌年から始まったもので、今年で28回を迎えます。

このフェスティバルで世に出たのが「コスモスのうた」です。まどさんが故郷のために書かれた唯一の童謡で山本直純さんが曲をつけたものです。もちろん音楽会の表題もここから来ている。

また美術博物館では、音楽会と並行してまど・みちお文学の調査、研究も進めてきました。彼の奥深い童謡や詩に興味をもってもらうためには、足跡や人となりが必要であると考えたからです。

そんな折、「コスモスのうた」の原型についての調査依頼がありました。原型とは1985年1月14日、草月ホール(東京赤坂)で開催された「うた うた うた」コンサートで初めて歌われた同名の童謡のことです。しかも作詞作曲ともまどさんご自身でした。それから関係者にあたりこの童謡の編曲者である伊藤幹幹さんに辿り着くことができました。そして当時の様子を伺い原型であることを確認しました。

まどさんは、童謡や詩を長い間温めて時間をかけて発表するタイプの詩人です。たとえば、1951年発表の「やぎさんゆうびん」の原型は、1939年に発表された「ヤギサンイウビン」と言われています。「子ど

もたちの心に響く詩になるまで改敲する」。これはまどさんが詩人として生涯貫いた信念でした。

それでは、「コスモスのうた」の原型(作曲まど・みちお)と最終型(作曲・山本直純)とを比べてみたいと思います。

詩の内容について一番はまったく同じ。二番の最後が原型の「あおぞらをながめてちいさなこえでうたつて」が、最終型では「あおぞらをみあげてみなはればれとうたつて」と書き直されています。(上掲)静寂なエンディングから明るく晴れ晴れとしたものへと百八十度転換させています。まどさんはここに故郷の皆さんとともに歌える童謡を意識されたのだらうと思います。

そして童謡については、曲がつくことで詩が生かされ、子どもたちが歌うことでより多くの方々に広がっていくと音楽の力を信じておられました。この「コスモスのうた」についても童謡が童謡として一番あるべき姿を望まれたのではないのでしょうか。詩の大要を変えたのだから、新しい曲に託してみたい。そして生まれ出たのが最終型「コスモスのうた」であつたように思います。

音楽会の第一部ではまどさんが作曲した原型を、第二部では山本さんが作曲した最終型をお聴きいただきます。

ふたつの「コスモスのうた」に流れるまどさんのひたむきな詩心も汲み取つていただければ幸いです。

(周南市美術博物館館長 有田順一)



周南市誕生20周年記念

見のがせない! 日本の画家たち展

11月22日(水)～2024年1月21日(日)

月曜休館 ※ただし年末年始(12月29日(金)～1月3日(水))休館
1月8日(月・祝)開館、翌9日(火)休館

観覧料

■一般 1,200円(1,000円) ■大学生 1,000円(800円)
()内は前売および20名以上の団体

18歳以下無料

財団会員ご招待(家族会員は一家族につき2枚)

絵画作品を見るとき、どんな画家が描いたのだろうと思うことはありませんか。
画家のポートレートとその作品をあわせて展示してみるとより楽しめるのではない
か、そんな想いから企画した展覧会です。

日本近代美術史に名を残す画家の作品を収蔵する笠間日動美術館(茨城
県)。本展では、笠間日動美術館が誇るコレクションから日本を代表する画家の
作品やパレットなど約100点を展示します。当館所蔵の林忠彦「日本の画家」から
厳選した画家たちのポートレートもあわせてお楽しみください。

古沢岩美
「薔薇十字・マドレーヌ」
1984年 油彩

「古沢岩美」林忠彦撮影



野間仁根「パレット」1967年頃 油彩



「野間仁根」林忠彦撮影

主な展示作家

梅原龍三郎・片岡球子・香月泰男・鴨居玲・岸田劉生・熊谷守一
小磯良平・小山敬三・里見勝蔵・東郷青児・林 武・三岸節子
向井潤吉・安井曾太郎

関連イベント

●講演会「日本洋画にみる人物像と肖像の変遷」

12月9日(土) 14:00～15:30

会場／美術博物館講座室 講師／山梨絵美子氏(千葉市美術館館長) 定員／40名(先着順)

※電話で美術博物館(0834-22-8880)までお申し込みください

※聴講無料、ただし観覧券(半券でも可)が必要です

事前
申込み

●ギャラリートーク

予約
不要

■11月25日(土)

■12月17日(日)

■1月8日(月・祝) いずれも14:00～

※観覧券をお求めの上、展示室にお集まりください

周南市誕生
20周年記念

第21回

周南市美術展2023

大賞・準大賞
作品紹介

第21回周南市美術展2023が開催され、応募点数260点の中から
写真部門・池田隆夫氏の「愛の巣」が大賞に選ばれました。
主な入賞者は以下のとおりです。

平面70点・立体26点・書30点・写真89点が
展示されました。

市
美
展
大
賞

写真「愛の巣」 池田 隆夫

市
美
展
準
大
賞
(部
門
別)平面「寒中花」
原田 勝造立体「理由ありメロン」
川中 和好書「ちはやふる」
高田 幸宏写真「煌めき」
久原 靖史

LAWSON

クリスマス
ケーキ
.....
おせち
ご予約承り中

ローソン徳山動物園前店 0834 32-8363

※画像はイメージです。

ひばく
美博クイズ～!〈118〉 もんだい

みぎ しや しん び じつ はく ぶつ
右の写真は、美術博物
館で、ある訓練を行っ
ているところだよ。
なん くん れん おこな
何の訓練だろう?



周南市美術博物館 常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：月曜日

展示室 4 林忠彦記念室

昭和の作家たち くつろぎのひととき 11/30(木)まで

林忠彦の前で、作家たちが見せた日常のくつろいだ姿。撮る側と撮られる側との信頼関係までがうかがえます。

林芙美子は、よほど親しくて信頼している人でなければ、書斎に入れなかったそうです。まして、内緒だった裏のアトリエまで入り込める人はなかなかいなかったようですが、林はそのアトリエでも撮影をさせてもらっています。



「林芙美子」
（「文士の時代」より）

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は12/28(木)まで

まどさんがふるさとに贈ってくれた詩「コスモスのうた」。
平成4(1992)年11月、文化会館の開館10周年を記念して「まど・みちおこどものうたフェスティバル」が開催されました。作曲家の山本直純さんが曲をつけたこの歌は、第2部のファミリーコンサートで初めてお披露目されました。

この歌を伝えていきたい、まどさんの童謡を子どもたちに歌ってほしいと、翌年から毎年、市内の幼稚園・保育園の年長さんたちによる「まど・みちおコスモス音楽会」が文化会館で開かれています。今年は、4年ぶりに開催されます。まどコーナーに展示中のまどさん直筆の「コスモスのうた」の原稿、ぜひご覧ください。



徳山の歴史 特設コーナー

「海外に学んだ先人たち」 12/3(日)まで

児玉源太郎は、明治24(1891)年10月から10ヶ月間、軍事教育の視察のためヨーロッパを歴訪しました。源太郎はパリに到着してすぐに洋服を仕立てたことがわかっており、シルクハットもヨーロッパ滞在中に仕立てられたと思われます。そのケース(右写真)には、マルセイユのホテルのステッカーが貼られています。「LOUVRE DE LA PAIX」(ルーブル エペ)は、1863年に完成した高級ホテルだったようです。現在はホテルではありませんが、建物は残っているそうです。



シルクハットのケース

びびびの美
2023年9月前半号
(海外に学んだ先人たち)



第32回 林忠彦賞 作品募集中

2023年12月31日(日)必着!!

資格 国内居住であれば、アマチュア、プロ、年齢、性別、国籍を問いません。

テーマ 自由

対象 以下①、②の条件を満たすもの
①2023年1月1日～12月31日に写真展、写真集、雑誌、公募等の表現媒体ですでに発表された作品。②受賞記念写真展を開催する関係上、同一テーマで35枚以上から70枚程度までの写真で構成された作品。

選考委員 大石芳野、笠原美智子、河野和典、小林紀晴、有田順一 (敬称略・五十音順)

募集要項・歴代受賞作品などの詳細や最新情報はホームページをご覧ください。応募用紙のダウンロードもできます。

<http://hayashi-award.com/>

応募先／問合せ先…林忠彦賞事務局(周南市美術博物館)TEL(0834)22-8880



駅前図書館「ほんわか日和」講演会

まど・みちおの つたえたかったこと 「どうよう・いえ」



「そうさん」「やぎさん ゆうびん」などの童謡や、周南市の図書館カードの絵でも身近なまど・みちおさんの魅力をお伝えします!

日時 11/26(日) 14:00～15:00

会場 徳山駅前図書館3階 交流室1

- ◆講師 周南市美術博物館館長 有田順一 ◆参加無料
- ◆定員 20名(先着順) ◆当日、直接会場にお越しください

令和5年度 周南市学校美術展

- 会場 周南市美術博物館 展示室1・2・3
- 会期 11月10日(金)～12日(日) 9:30～17:00(入場は16:30まで)

観覧無料

周南市内の園児・児童・生徒の作品を展示する、子どもたちの総合美術展です。色彩豊かな絵画や立体作品が展示室いっぱい広がります。個性あふれる作品をぜひご覧ください。

周南市美術博物館 その他の11月の展覧会 9:30～17:00(入館は16:30まで)

- 周南市制・周南文化協会設立20周年記念事業「周南市民芸術文化祭」
(美術・書道・手工芸連盟 作品展) 11/3(金・祝)～5(日)(最終日は16:00終了)【展示室1・2・3】

観覧無料

ひはく 美博クイズ～!〈118〉 こたえ

しょうぼう くん れん 消防訓練だよ

びはく ねん かい しょうぼうくん れん
美博では、年に2回、消防訓練をおこなっているよ。
いざというときに落ち着いて速やかに対応できるように、備えているんだ。「もんだい」の写真は、消火栓を使った放水訓練をしているところだよ。

日通の えころじ にほんぽ

お見積り無料。まずはお電話を!

0120-154022
ひっこ し は にっつう

www.nittsu.co.jp/hikkoshi/

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

見のがせない! 日本の画家たち展
11/22(水)～1/21(日)周南市制・周南文化協会設立20周年記念事業
「周南市芸術文化祭」
(美術・書道・手工芸連盟 作品展)
11/3(金・祝)～5(日)

周南市学校美術展 11/10(金)～12(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

林忠彦写真展「日本の画家を撮る」
～11/26(日)尾崎正章常設展「風のある世界」
～12/3(日)水彩画二人展(河村一敏・平野忠彦)
11/30(木)～12/3(日)

ふくがわこども園 作品展 ～11/5(日)

わかやま保育園 作品展 11/8(水)～19(日)

富田西小学校 作品展 11/22(水)～1/28(日)

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

特別展 国宝 ～12/4(月)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

生誕110年 松田正平展/
毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」
～12/3(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

フィンランド・グラスアート
輝きと彩りのモダンデザイン/
ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展
一食べること、共に生きること—
～12/3(日)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

アニメーション美術の創造者
新・山本二三展 11/19(日)～1/21(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

巖流島
—そして、島は決闘の聖地となった—
～12/3(日)

～TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

- 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)
()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

- 休館日: 月曜日

企画展

小展示室

びびびの美
2023年10前半号林忠彦写真展
「日本の画家を撮る」

11月26日(日)まで開催中

日本の古い民家を描き続けた画家、向井潤吉。彼は古民家を描くために、不便なところへも気にせず出かけていきました。



林 忠彦



「向井潤吉」林忠彦撮影

若い頃フランスに渡り、ルーブル美術館の名品の数々を模写した経験もあり、その筆は的確に置かれています。いたずらっぽい独特の京都弁で、一緒に飲んだり話したりするのが楽しい人だと林は振り返っています。

周南市美術博物館で開催する周南市誕生20周年記念「見のがせない! 日本の画家たち展」【11月22日(水)～2024年1月21日(日)】では、林忠彦が撮影した画家の肖像写真もいくつか紹介します。本展とあわせてぜひご覧ください。

常設展

中・大展示室

尾崎正章常設展

12月3日(日)まで開催中 「風のある世界」

※中展示室の作品は、11月26日(日)までの展示となります。

今年度の常設展は目だけでなく耳や触感など、五感で感じる尾崎の作品を紹介しています。3回目は風を感じる作品を集めて展示します。夏の爽やかな風や冬の冷たい風、海の潮風など作品の前に立って、さまざまな風を感じてみてください。



展示風景

その他の11月の展覧会【中・小展示室】

入場無料

- 「水彩画二人展(河村一敏・平野忠彦)」11/30(木)～12/3(日)
9:30～17:00(入館は16:30まで) ※最終日は15:00終了

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>ミニコラム
ガス燈

行楽の秋です。ドライブも楽しい季節です。以前はペーパードライバードラ、山口県で暮らして始めてから晴れて車が相棒となりました。

毎朝通勤30分、小さな車を運転し職場を目指します。音楽は必須です。大量に集めた好きな音楽をランダムに流しながら運転するのが朝の楽しみです。例えば、鼻唄のバンドの後にベーターベンがかかって、次に昭和歌謡、それから落語のお囃子が始まる...というような意外な展開に、思わず笑ってしまうこともあります。そして道中、おそらく馴染みの車を見かけるとなんとなく仲間意識を持ち、周南市の空にそびえる2本の煙突が見える頃には、私の30分もハイライトを迎えます。不思議なことに、どんな曲でもマッチしてしまふ煙突のある風景。煙を立ちのぼらせる2本の煙突のバックにちょうどジャズが流れたりしたら、もう映画のワンシーンにいたような気分になります。こうして、私のめたい愛すべき時間は終わり、美術館に到着、気持ちよく仕事モードにつながってゆきます。

皆様もどうぞ安全で豊かなドライブライフを。そして行き先は時には周南市美術博物館を選んでいただければ幸いです。

(山根)